

定例記者会見

日 時：11 月 17 日（月）10:00～
場 所：本庁 3 階 庁議室

【市長発言】

- No. 1 令和 8 年度政府予算編成に関する政府要望の実施について P. 2
- No. 2 新たな基本構想の策定について P. 5
- No. 3 令和 7 年 8 月大雨に係る減免申請窓口・総合支援窓口の
変更について P. 7
- No. 4 令和 7 年 8 月大雨被害の「り災証明・被災証明」の
申請期限について P. 9

【資料のみ】

- No. 5 休日窓口開庁の見直しについて P. 11
- No. 6 まなびフェスタやつしろの開催について P. 12

令和8年度政府予算編成に関する政府要望の 実施について

本市では、11月18日から20日にかけて、国・県との連携を深め、令和8年度の政府予算確保するため、国土交通省ほか、関係官庁等への要望活動を実施します。

1. 日時及び要望先

11月18日（火） 農林水産省、文部科学省、厚生労働省、内閣府
11月19日（水） 総務省、国土交通省
11月20日（木） 経済産業省、議員会館

2. 要望者

八代市長 小野泰輔、八代市議会議長 高山正夫、氷川町長 藤本一臣
八代地域農業協同組合長 山住昭二、他関係部長

3. 内 容

- （1）要望書の提出
- （2）写真撮影
- （3）意見交換

4. 要望の概要

「令和2年7月豪雨からの創造的復興に向けた要望」 他29項目

5. その他

取材を希望する場合は、事前に下記担当までご連絡ください。

（11月17日（月）正午まで）

問合せ 総務企画部 企画政策課 担当:本石・塚本
TEL 0965-33-4104

令和7年度 第2回政府要望 実施概要

1. 日 時: 令和7年11月18日(火) ～ 20日(木)

2. 要望内容

	要望項目	要望先府省庁
	(1) 社会資本整備の更なる促進について	国土交通省
	(2) 南九州地域の拠点港湾「八代港」の整備促進について	国土交通省
	(3) 人流・物流対策と都市の防災・安全対策の推進について(南部幹線・西片西宮線)	国土交通省
	(4) 球磨川水系の抜本的な治水対策の強力な促進について	国土交通省
	(5) 球磨川総合水系環境整備事業等について	国土交通省
	(6) 水害の頻発・激甚化に対応する治水対策の促進について(大鞘川河川改修事業)	国土交通省
	(7) 地域を守る総合的な土砂災害対策の推進について～球磨川水系川辺川砂防事業～	国土交通省
	(8) 物流対策の推進について～国道3号宇城～八代間の機能強化～	国土交通省
	(9) 坂本パーキングエリアへのスマートインターチェンジ設置について	国土交通省
	(10) 国産量表の需要拡大について	国土交通省
	(11) 令和4年台風第14号による被害への対応について	国土交通省
	(12) 路線バス等の地域公共交通維持のための財政支援について	国土交通省
	(13) 熊本県八代地域い産業を守る対策について	農林水産省
	(14) 国営八代平野土地改良事業の推進について	農林水産省
	(15) 老朽化した排水機場の更新と能力増強並びに維持管理経費への支援について	農林水産省
	(16) 直轄海岸保全施設整備事業「八代地区」の推進について	農林水産省
	(17) 海岸樋門における濡筋の確保について	農林水産省
	(18) 鳥獣被害防止対策に関する要望について	農林水産省
	(19) 地方一般財源総額の充実確保等について	総務省
	(20) 石油貯蔵施設立地対策等交付金の算定に係る石油貯蔵量に応じた段階的な交付金の交付について	経済産業省
(新規)	(21) 国の安全保障(食品製造・半導体分野等)に資する事業を地方税課税免除で支える自治体への支援措置について	経済産業省
	(22) 地域脱炭素の推進について～ 地域脱炭素推進交付金事業～	環境省
	(23) 学校給食費の無償化について	文部科学省
	(24) 学校再編統合に係る財政支援について	文部科学省
	(25) 学校施設における教育環境の改善について	文部科学省
	(26) 中学校部活動の地域移行に伴う財政措置等について	文部科学省
	(27) 子育て支援施策への財政支援について	こども家庭庁
	(28) 令和2年7月豪雨からの創造的復興に向けた要望書	関係府省庁
(新規)	(29) 令和7年8月大雨に関する要望書	関係府省庁

○八代・天草シーライン建設促進期成会、八代・天草シーライン建設促進市議会議員連盟、
八代・天草シーライン建設促進民間協力期成会、天草・八代シーライン建設促進民間期成会

(30)	新たな広域道路ネットワークの形成に資する八代・天草シーライン実現について	国土交通省
------	--------------------------------------	-------

令和7年度 第2回政府要望

日時及び 要望先

11月18日(火)

農林水産省、文部科学省、厚生労働省、内閣府

11月19日(水)

総務省、国土交通省

11月20日(木)

経済産業省、議員会館

要望者

八代市長 小野泰輔
八代市議会議員 高山正夫
氷川町長 藤本一臣
八代地域農業協同組合長 山住昭二
他関係部長

内容

- (1) 要望書の提出
- (2) 写真撮影
- (3) 意見交換

要望概要

《総務省》

- 地方一般財源総額の充実確保等について 他2項目

《文部科学省》

- 学校給食費の無償化について 他4項目

《厚生労働省》

- 「坂本診療所(仮称)」運営への財政支援 他1項目

《農林水産省》

- 熊本県八代地域い産業を守る対策について 他6項目

《経済産業省》

- 国の安全保障(食品製造・半導体分野等)に資する事業を地方税課税免除で支える自治体への支援措置について 他1項目

《国土交通省》

- 令和2年7月豪雨からの創造的復興に向けた要望
- 令和7年8月大雨に関する要望
- 新たな広域道路ネットワークの形成に資する八代・天草シーライン実現について 他12項目



新たな基本構想の策定について

本市では、“未来を取り戻す8つの挑戦”（市長が掲げる今後4年間の基本的な政策）のもと、令和8年度を開始年度とする新たな基本構想※の策定を進めています。

現在、全市民を対象とした意見募集を行っており、頂いたご意見を踏まえ、新たな基本構想を策定することとしています。

※基本構想・・・市政における全ての施策の基本となるものです。

1. 策定の趣旨

市では、平成30年度に「第2次八代市総合計画」を策定し、目指す将来像「しあわせあふれる ひと・もの 交流拠点都市“やつしろ”」の実現に向け、まちづくりに取り組んでいるところです。

今年度をもって「第2次八代市総合計画」の計画期間が終了することから、この計画期間続き、市が目指す将来の姿や方向性を明確にするため、“未来を取り戻す8つの挑戦”（市長が掲げる今後4年間の基本的な政策）のもと、新たな基本構想を策定するものです。

2. 全市民を対象とした意見募集とは

- ・市民や地域が抱える具体的な課題を把握することを目的として実施。
- ・広報やつしろ11月号への特集記事掲載や、市HP、公式SNS等により意見募集
- ・QRコードによるWEB回答に加え、デジタルデバйд対策として、市内公共施設に回収箱を設置。

意見募集期間：10月28日（火）～11月28日（金）

3. 策定スケジュール

- 10月 「全市民対象型意見募集」を実施
- 11月 新たな基本構想（案）を策定
- 12月 パブリックコメントを実施
- 3月 新たな基本構想を議会へ提案

問合せ 総務企画部 企画政策課 担当：山本・平山・塚本
TEL 0965-33-4104



新たな基本構想の策定について

1. 策定の趣旨

- 平成30年度に「第2次八代市総合計画」を策定
- 目指す将来像「しあわせあふれるひと・もの 交流拠点都市“やつしろ”」の実現に向け、まちづくりに取り組んでいる
- 今年度をもって「第2次八代市総合計画」の計画期間が終了
- 引き続き、市が目指す将来の姿や方向性を明確にするため、「**未来を取り戻す8つの挑戦**」（市長が掲げる今後4年間の基本的な政策）のもと、**新たな基本構想**を策定するもの

3. 策定スケジュール

令和7年10月	「全市民対象型意見募集」を実施
11月	新たな基本構想（案）を策定
12月	パブリックコメントを実施
令和8年3月	新たな基本構想を議会へ提案

2. 全市民対象型意見募集

- 広報やつしろ11月号や市HP、公式SNS等による周知
- QRコードによるWEB回答に加え、デジタルデバйд対策として本庁舎などの**公共施設へ回収箱を設置**し、全市民を対象とした意見募集を実施中

未来を取り戻す8つの挑戦

(市長が掲げる今後4年間の基本的な政策)

- 1 見える市政、聞く市政**
 - 透明性の高いデジタルでの情報公開の徹底
 - 市民にまで声が届くための議員の意識改革、制度整備
 - コンプライアンス体制は経済活動などの機能
 - 各支所機能を強化・活用し、地域住民の満足度を向上
- 2 地の利・人の利を活かす**
 - 企業・人材の誘致
 - 新八代駅開港の推進
 - 八代市の活用促進
 - しほのマーケット開港
 - 農林水産業、地域産業の競争力向上支援
 - 日常生活圏の充実、子育て地域の創出・充実
 - 駅周辺おれんじ線沿線の活性化
 - 中心市街地・アーケードのあり方検討
- 3 市民生活を高める文化行政**
 - 野生自然環境の再発見
 - 市民生活の全体的なプラン策定
 - 市民アートの表現の場の創出
 - 自然環境を芸術家の集う場に
 - 良好な景観形成
- 4 被災地の復興と生活支援の強化**
 - 被災地のニーズへの迅速な対応
 - ボランティア団体、地域間の連携強化
 - 被災地の交通・医療・福祉対策
 - 被災地復興への対策の検討
- 5 暮らしを支えてきた八代へ**
 - 新職員の食料調達、スキルアップ
 - 地域の人も参加した子どもの学びのサポート
 - 不登校・不登校生へのサポート、児童相談体制の整備・充実
 - 障がい児保育・療育費用の助成充実
- 6 持続可能な地域づくり**
 - 環境人口の創出
 - 従来型にこだわらない革新的な公共サービスの導入
 - 林業振興と人材育成
 - 農地集約・法人化と新規就農者の促進
 - 従来型の農産物を活かす農産物の活用
 - 高齢者世代等の見守り体制の構築
- 7 危機に即応できる防災対策の推進**
 - 市民の災害リスクに関する意識向上の促進
 - 防災訓練(水、自然災害)の強化と新たなハード対策の推進
 - 防災対策のための森林整備、防災訓練の活用
 - 防災を推進した公共施設の整備、改善(避難所、防災センター等)
 - 防災型市民活動の推進
- 8 DXとAIで生産性向上**
 - 行政のデジタル化による見直し・効率化の推進
 - 市有施設・土地などの有効活用、整備
 - DXやAIの活用による生産性向上

市長からのメッセージ 配信中

あなたの声が八代の未来をつくりまします

新たな基本構想への意見を募集します

募集期間 10/28(金)～11/28(金)

基本構想とは、八代市が目指す将来の姿や方向性を明確にするための総合的な計画で、市政における全ての施策の基となるものです。

左のページに市長の8つの基本的な政策を記載しています。

◎この取り組みは「もっとこうしたい方がいい」

◎他にも「こんなことに取り組んでほしい」

など、多くの皆さんからの意見をお待ちしています。

市民の皆さんへお願い

応募方法

①Web専用フォーム
(FAX: 03-5125)

②持参、郵送 (〒866-8601 八代市松江城町1-25 八代市役所企画政策課まで)

③回収箱に投函 (市役所本庁舎、各支所、各コミュニティセンター、市立図書館、保健センターに設置)

※1～3の受付は、設置場所にある意見記入用紙を利用ください。市ホームページからもダウンロードできます。
なお、応募形式で提出される場合は、1枚用、2枚用、3枚用がありますのでご注意ください。

令和7年8月大雨に係る減免申請窓口・総合支援 窓口の変更について

本市では、令和7年8月大雨で被害にあわれた市民の方への市税等の減免申請や相談業務について、特設窓口を開設していましたが、発災から3か月が経過し、利用者数が減少してきたことから、次のとおり見直しを行います。

1. 見直し内容

(1) 減免申請窓口

減免対象：固定資産税、個人住民税（市県民税）、森林環境税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料、介護サービス利用料

11月28日まで	本庁：2階 会議室F 各支所 日奈久出張所、龍峯出張所
12月1日以降	本庁：1階 国保ねんさん課、介護保険課 2階 市民税課、資産税課 各支所 日奈久出張所、龍峯出張所

※12月以降は、各課の窓口にてワンストップサービスを継続します。

(2) 総合支援窓口

11月28日まで	本庁：2階 会議室F横
12月1日以降	本庁：2階 市民相談室

問合せ

【市税等の減免申請窓口】

財務部 市民税課 担当：窪田、馬淵、中村
TEL 0965-33-4107

【総合支援窓口】

市民環境部 市民活動政策課 担当：西村
TEL 0965-33-4482

令和7年8月大雨被害の「減免申請窓口・総合支援窓口」の変更について

減免申請 窓口

市税等の減免申請窓口の変更について

市税等の減免申請窓口が変わります。

令和7年11月28日（金）まで
→ 本庁：2階 会議室F
各支所
日奈久出張所、龍峯出張所



令和7年12月1日（月）から
→ 本庁：1階 国保ねんきん課、介護保険課
本庁：2階 市民税課、資産税課
各支所
日奈久出張所、龍峯出張所

※4課のどこでも申請を受け付け、
ワンストップサービスは継続します。

総合支援 窓口

総合支援窓口の変更について

総合支援窓口が変わります。

令和7年11月28日（金）まで
→ 本庁：2階 会議室F横



令和7年12月1日（月）から
→ 本庁：2階 市民相談室

※窓口は変わりますが、
引き続き被災者をサポートします。

令和7年8月大雨被害の「り災証明・被災証明」の 申請期限について

本市では、発災から3か月が経過し、申請者が減少してきたこと、あわせて浸水被害について、調査の際、被害の痕跡が分かりにくくなっていることから、り災・被災証明の新規申請の期限を定めることといたしました。

1. 内容

(1) り災証明の申請期限 令和8年1月30日(金) まで

(2) 被災証明の申請期限 令和8年3月31日(火) まで

※り災証明書及び被災証明書の再発行は、期限後も受け付けます。

問合せ

【り災・被災証明】

財務部 市民税課 担当:窪田、馬淵、中村
TEL 0965-33-4107

令和7年8月大雨被害の「り災証明・被災証明」の申請期限について

り災証明

り災証明書の申請期限について
(住家)

申請期限：令和8年1月30日（金）

【り災証明】

自然災害で家屋（住家）に被害を受けた場合に、その被害の程度を証明する書類

※被害を受けた方で、まだ「り災証明」を申請されていない方は、お早めの申請をお願いします。

被災証明

被災証明書の申請期限について
(住家でない倉庫・車両等)

申請期限：令和8年3月31日（火）

【被災証明】

自然災害で住家以外の建物、自動車、家財に被害を受けた事実を市が証明する書類

※被害を受けた方で、まだ「被災証明」を申請されていない方は、お早めに申請をお願いします。

休日窓口開庁の見直しについて

本市では、年末の12月29日と30日に実施してきました休日窓口開庁(年末開庁)を見直します。

また、3月下旬から4月上旬の引越しシーズンの窓口混雑を緩和するために実施してきました休日窓口開庁(繁忙期開庁)についても見直します。

今後は、窓口に行かなくても手続きができる「行かない窓口」の実現に向けて取り組んでまいります。

1. 経緯

証明書のコンビニ交付が増加していることや税の納付がコンビニでも取り扱えること、行政手続きのオンライン化が普及していることにより利用者数が減少しているため、休日窓口開庁を見直すものです。

2. 見直し内容

(1) 年末開庁

見直し前	見直し後
開 庁 日:12月29日、30日(日曜日又は土曜日に当たる日を除く) 開庁時間:8時30分から正午まで 取扱担当課:納税課、市民課、障がい者支援課、介護保険課、こども未来課、こども家庭支援課、国保ねんきん課	廃止

(2) 繁忙期開庁

見直し前	見直し後
開 庁 日:3月最後の土曜日、日曜日 4月最初の土曜日、日曜日 開庁時間:8時30分から17時15分まで 取扱担当課:市民課、障がい者支援課、介護保険課、こども未来課、こども家庭支援課、国保ねんきん課	開 庁 日:3月最後の日曜日 4月最初の日曜日 開庁時間:8時30分から17時15分まで 取扱担当課:市民課、障がい者支援課、介護保険課、こども未来課、こども家庭支援課、国保ねんきん課

3. 見直し時期

(1) 年末開庁 令和7年12月の年末から

(2) 繁忙期開庁 令和8年3月・4月の繁忙期から

4. その他

毎週木曜日の延長窓口(17時15分から19時まで)は、現行どおり実施します。

問合せ 市民環境部 市民課 担当:相澤、元村
TEL 0965-33-4110

まなびフェスタやつしろの開催について

～総合司会は八代高校放送部のみなさん

講演会講師は須田慎一郎さんです～

八代市教育委員会では、まなびフェスタやつしろを12月13日(土)に八代市公民館で開催します。ホールステージでは、自主講座クラブの発表や経済ジャーナリスト須田慎一郎さんの講演会、ホワイエでは、社会教育団体の活動発表や自主講座クラブの作品が展示されます。

熊本高専八代キャンパスの学生や八代工業高校、八代農業高校泉分校の生徒の皆さんによる体験イベント、市立図書館のお話会スペシャルや八竜天文台の宇宙のお話会など楽しみながら学ぶイベントが盛りだくさんとなっています。

1. 目 的 本市における様々な学びの機会や活動を紹介し、学習成果発表の場を設けることで、市民の生涯学習への理解を深めるとともに、学習意欲の向上と学習活動への参加を促進し、すべての市民が自ら生涯にわたり、いつでも自由に学びたいことを学び続けることができる生涯学習社会の実現を目指す。
2. 主 催 八代市教育委員会
3. 日 時 令和7年12月13日(土)午前8時30分開場～午後1時
講演会は午前10時10分から90分間
4. 場 所 八代市公民館(八代市千丁町新牟田1433番地)
5. 申込み 講演会は要申込み(先着500名)
 - ・申込フォームからの申し込み
 - ・メール、FAX、はがきによる申し込み
6. 内 容 ・ホール 高校生や自主講座クラブのステージ、講演会
 ・ホワイエ 作品等展示(社会教育団体、自主講座クラブほか)
 ・館内 共催団体、学生生徒による体験イベント(当日受付)
 ・屋外 パンやおこわ、スイーツを揃えた、まなびマルシェ(食バザー)



HP 記事QR

問合せ 教育部 生涯学習課 担当:中川・沢田
TEL 0965-30-1110

